

(1) 家庭・地域における子ども読書活動の推進

① 家庭における読書

子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
1	リーフレットなどによる情報提供	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットなどを産婦人科、小児科医院などに配布することで情報提供を行う。 〔152にも掲載しています。〕	継続	□	配布枚数		22年度に設置した赤ちゃん向け絵本の紹介リーフレットを活用してもらったため、24年度は新たに設置しなかった。	読書振興課・図書館
		リーフレットなどによる情報提供の機会として、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室を活用する。	継続	○			妊婦教室や父親教室での啓発により、出産前から両親に子どもが絵本とふれあうことの楽しさや大切さと共に、親子のふれあいの機会にもしてほしいこと等伝えている。また、4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診時だけでなく、転入者にも「えほんはじめまして」や「こんにちはえほん」などの絵本リストや「とよなか子ども読書マップ」を配布し、身近に絵本やおはなしが楽しめ、地域の人との交流の場所のPRや啓発活動を実施している。	保健予防課
2	PTA連合協議会での子ども読書に関する情報共有	PTA連合協議会での会議などの場において、子ども読書活動の取組みを報告するなど、情報提供し、広くその活動について周知の機会とする。	継続	○			PTA連合協議会の会議の中で呼びかけをし、学校便を通して市内各地域のPTA役員に「豊中市子ども読書活動推進計画 第2期実施計画 概要版」を配布した。またPTAを通じて一部の小学校、保育所などにも配布した。	小・中学校 PTA連合協議会 読書振興課・図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
3	図書館のPR	おはなし会や絵本講座などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。	継続	○		実施	定例のおはなし会や子育てサロン、サークルなどへの出前講座で図書館が子育てを支援していることや絵本についての相談窓口であることを伝えている。またおもに1歳6か月児健診で配布している「とよなか子ども読書マップ」でも身近に絵本やおはなしが楽しめる場として図書館のPRを行っている。	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアグループ
4	新一年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 〔138にも掲載しています。〕	継続	○	配布枚数	41校	図書館のPRや利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法については今後、検討していく必要がある。	読書振興課・図書館

5	家庭への情報提供	図書館のウェブサイトやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。[106、137]にも掲載しています。]	継続	○		図書館のメールマガジンでは、定期的に新着図書の情報発信を行っている。図書館で取り組んで来た多文化共生支援では、23年度補助金で新たに購入した多言語の絵本などをウェブサイトでも紹介している。千里図書館で発行している中高生向け情報誌YA! BOOKS通信では、「本で楽しむ部活紹介第二弾」の特集を組み「部活本リスト☆小説&実話編☆」と「部活本リスト☆実践編☆」のリストをウェブサイトでも紹介した。	読書振興課・図書館
---	----------	--	----	---	--	--	-----------

② 地域における市民活動

子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
6	子育てサロン・サークルでの乳幼児向けおはなし会および絵本講座の開催	校区福祉委員会で実施している子育てサロンおよび子育てサークルで子どもや子どもの読書に関する情報交流なども行う絵本講座や乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出を行う。子育てサロン38校区実施(25年3月現在)[99、127をご参照ください。]	継続	○	回数／参加人数	32校区 42回 /1,420人	社会福祉協議会(社協)では各校区で実施している子育てサロンにおいて図書館職員、おはなしボランティアグループ、子育てサロンスタッフ等によりおはなし会や絵本講座を実施し、講座やおはなし会の時に絵本の貸出を行っている。おもに近隣の図書館のこども室担当者が向向き、絵本についての話や、絵本の読み聞かせなどを行い、地域の中で本と親しむ機会となっている。社協としては乳幼児向け絵本の選り方講座やおはなし会の回数を増やしたい。(社会福祉協議会) 岡町図書館では公民館と連携しての絵本講座を行った。東豊中図書館では24年度も引き続き東豊中保育所地域子育て支援センターと共催の絵本講座「えほんでもっとふれあいましょう」を行った。0歳児のおはなし会が定着しているため、1歳児対象で1回実施した。蛭池図書館では、公民館と連携して「すくすくおはなしタイム」を開催している。0歳児対象の月と1歳以上対象の月とに分かれており、近隣の保育士さん(公共・民間とも)に協力してもらい、わらべうたやふれあい遊びを教えてもらい図書館からは絵本紹介や読み聞かせを行った。また、プログラム終了後、子育てについての相談を設けて親子どうしの交流の場になっている。(図書館)	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 読書振興課・図書館
7	「地域子ども教室」	学校や図書館などで地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作などを通して読書や図書館利用を進める。	継続	○	回数／参加人数	2,258回 /154,378人	市内41小学校区で週1回程度、子どもが地域の大人と交流しながら、学校では経験できない様々なことを学んだ。	地域教育振興室 読書振興課・図書館
<p>・岡町図書館で実施している克明校区のモノづくり教室は、毎月人気の行事で、子どもたちも楽しみにしている。保護者と一緒に図書館に来る機会となっている。(岡町図書館担当者より)</p>								
8	講演会の開催	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。	継続	○	回数	1回	中豊島小学校において、読み聞かせの意義や魅力を語り合う第11回「読み聞かせシンポジウム」(毎日新聞社、豊中市教職員組合主催、市PTA連合協議会共催)を実施した。当日は落語家の桂文我さんによる講演「らくごの楽しさ」の中で落語絵本「喜六と清八おもしろ伊勢参宮」の読み聞かせを桂さんご自身にいただいた。また、中学校校長、小学校図書館司書、市立図書館職員、小学校教員によるパネルディスカッションを行った。豊中市内のそれぞれの場での工夫した読み聞かせの報告や情報交換を行い、読み聞かせの大切さとおもしろさを話し合った。	学校図書館専任職員
<p>・落語もあまり聞いたことがなく、ひさしぶりに独特の世界にひきこまれました。プロの技はすごいです。子どもたちに本を親しんでもらう取組みがいろいろな立場から聞けてよかったです。コンピュータやゲームに夢中になる子ども達をも惹き付ける力を本はもっているのだな、やはり人の声やぬくもりが大切と思いました。(読み聞かせシンポジウムアンケートより)</p>								

23年度より追加	子ども文庫の活動	取組みの中で子どもや家庭に向けて、本の貸出や情報提供を行う。	継続	○	年間のべ利用者数	1,889名	地域の中で長年にわたり「子どもたちに良い本を」と地道な本の貸出や啓発活動を行っている。地域での子どもたちの居場所、子育て支援の場としての役割も担ってきた。小学生など学童期の子どもが忙しくなり、なかなか文庫に足を運べなくなっている反面、乳幼児の利用が増えてきている。ここ数年、新しく開設される文庫もあり、市内の子ども文庫の数は増加している。	子ども文庫 豊中子ども文庫連絡会(豊子連) 読書振興課・図書館
23年度より追加	講演会・講座の開催	市民や子どもに向けた講演会やワークショップの開催。子どものそばにいる大人に絵本の楽しさや大切さを伝えるために作家を招いての講演会や子ども向けの催し、子どもの育ちに関する講座を行う。 [13、129をご参照ください]	継続	○	講座回数／参加人数	3回／57人	24年度は、図書館との共催事業「子どもと本のつどいパート1」で「世界のバリアフリー絵本展」や元児童発達支援センター保育士のお話を聞くなど“障害と絵本”をテーマの一つに取り上げた。豊子連講座でも、「写真絵本で語る しょうがいったなあに？」と題して、子どもたちに障害を伝える写真絵本を出版されている、写真絵本作家の星川ひろ子氏に講演していただいた。その子の個性を尊重し、物事に正面から向き合い、「こころの目で見る」というお話を聞き、子どもに接する大人として大切なことを学ぶ機会となった。「ふれあい講座」は、2文庫が「パネルシアター」と「ふるさと紙芝居」を行い、それぞれの地域の中で、子どもたちとおはなしを楽しむ機会を持った。	○豊子連 読書振興課・図書館
<p>・『ぼくのおにいちゃん』の本の中で“障害”という言葉をつかっていない理由として、「一人の子どもでしかない」と言われたことがとても印象的でした。親にとって子どもはどの子も一人の子どもでしかない、というあたりまえのことを再確認しました。(豊子連講座 星川ひろ子さん講演会アンケートより)</p>								

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
9	ボランティアセンター登録者への情報提供	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。	継続	○			ボランティアセンターに子ども読書マップを設置しボランティアへの情報提供を行っている。	○豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館

読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
10	絵本等の貸出	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出ができる環境を整える。	継続	○	校区数	32校区	子育てサロンへ出向いて、乳幼児の保護者に対して絵本の楽しさを伝える取組みを行った。サロンに出向く時も、可能な範囲で図書館から絵本を運び貸出を行った。子ども文庫に赤ちゃん絵本をまとめて貸出した。	○豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
<p>・サロンでの貸出は参加者から好評で、普段目に止まらない絵本に出会えたなどの声を聞く。(社会福祉協議会担当者より)</p>								

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
11	グループ支援活動	公民館と図書館において活動しているボランティアグループやサークルが、相互に連携した取組みができるよう交流を深める事業を行う。	継続	○			<p>学校で読み聞かせをする保護者向けに図書館で行う研修は、ほかの学校での活動の様子を知る機会にもなっている。(図書館)</p> <p>人形劇・パネルシアター等の登録グループが地域に向いて交流を深めている。また千里公民館では公民館登録グループが子ども夏休み講座及びクリスマス関連事業で人形劇・パネルシアターを披露した。(公民館)</p>	公民館 読書振興課・図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
12	子ども文庫活動への支援と連携・協力	長年にわたり、地域の中で子どもと本をつなぐ地道な活動を行っている子ども文庫に対して、市立図書館が団体貸出サービス、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などを行い、活動を支援する。また子育て支援事業の中で連携・協力(協働)する機会をつくり、子ども文庫の活動を広く市民に知ってもらえるようPRするとともに、活動場所の確保など、個々の文庫の活動を支援する。	継続	○	団体貸出冊数	6,517冊	<p>豊子連所属の子ども文庫については、4か月児健診時、ブックスタート事業「えほんはじめまして」での図書館からの配布物の中に「こどもぶんこのしおり」を入れてPRIに協力している。その他の子ども文庫のPRチラシなども依頼に応じて図書館内で配布した。</p> <p>また「子どもと本をつなぐ地域交流会」に、パネリストとして参加したことにより地域の中で子ども文庫が果たしてきた役割を多くの人に知ってもらえた。ブックスタート事業のPRの巡回写真展でもパネル展示やしおりや便りの配布など、文庫や豊子連の紹介を行った。</p>	子ども文庫 豊子連 読書振興課・図書館
13	豊中子ども文庫連絡会への支援と連携・協力	豊中子ども文庫連絡会は社会教育育成団体として補助金の交付を受けるとともに、図書館と共催して「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を行う。豊子連主催行事等では、図書館による後援と協力をを行う。 [129をご参照ください。]	継続	○	団体貸出冊数	4,725冊	<p>豊子連の例会に図書館職員も参加し、情報提供や共有を行い「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」の共催をはじめ、ブックスタート事業「えほんはじめまして」などにも協働で取り組んでいる。</p> <p>子どもと本のまつりの手づくりあそびのコーナーは、毎年参加が100人を超える人気だが、24年度は、2つの工作に加えて切り紙のコーナーを設けたところ、細かい作業にじっくりと熱心に取り組む姿が見られた。多言語のおはなし会では、ベトナム語と中国語で絵本やおはなしを楽しんだ。「子どもと本のつどい」パート1は「世界のバリアフリー絵本展2011」の展示と「つながろう、えほん、こども、おとな」と題して、元児童発達支援センター保育士に講演していただいた。パート2では、写真絵本作家の星川ひろ子氏を招いて小学生対象のワークショップ「しゃしんであそぼ！」を開催し、白黒写真に彩色して個性的な作品を制作した。豊子連講座としては、千里図書館にて星川ひろ子氏の講演会を行った。(②地域における市民活動の追加項目「講演会・講座の開催」をご参照ください。)</p>	読書振興課・図書館 豊子連

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
14	おはなしボランティア活動への支援	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [153にも掲載しています。89をご参照ください。]	継続	○	講座回数／団体貸出冊数	8回／16,925冊	「子どもと本をつなぐボランティア講座」受講者はここ数年減少しているが、退職後地域で活動を始めたという受講者が増えている。男性の受講者もあり修了後活動を続けている。こうした受講者の変化やニーズに合わせて講座の内容を検討していく必要がある。「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」パート1では絵本学研究所主催正置友子氏を招き、おもに誕生から12歳までの子どもと絵本の関わりについてご講演いただいた。パート2は、「日本の民話 昔話から都市伝説まで一子どもに伝えていくためにー」と題し、京都学園大学歴史民俗学教授堀田謙氏にご講演いただいた。各図書館では、ボランティアからの相談に応じて、選書についてのアドバイスや、打ち合わせ場所の提供など、日常的に行っている。千里図書館では、新田南小グループ「お話しのおはなし」に読み聞かせのレクチャーを行った。	読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧なお話でとてもわかりやすく興味深く聞かせていただきました。 ・題名に魅かれて受講しました。目からうろこのお話がたくさんありました。ありがとうございました。 ・子どもたちの成長の過程に関わるものとして、絵本の選択についても責任を持ち、子どもたちの想像力を養う手助けになればいいと思った。(「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」パート1、受講者アンケートより) 								
15	地域ボランティア活動推進事業	中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(放課後子どもクラブ)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 [68、88、154にも掲載しています。]	継続	○	講座回数／参加人数	3回／23人	夏休みを利用して「高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座」を実施し、最終日には保育所での実践を行った。近年、高校生の受講者の減少が課題であったが、広報の仕方等を工夫することにより、24年度も複数の参加があった。例年、秋季以降に過去の受講生を加え、「絵本の読み聞かせボランティア」として地域子ども教室等でおはなし会を数回実施している。しかし24年度は、当年度の受講者の参加はなく、過去の受講生のみで実施した。次年度は、受講生が継続的に活動できるよう、講座終了後、早い時期におはなし会や受講生の交流会を設定するなどの工夫が必要である。	地域教育振興室 読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の選び方から子どもとの接し方、心構え等本当にたくさんのことを教えていただいて、とても勉強になりました。自分が大好きな絵本を子どもたちが楽しそうに聴いてくれたことが、一番うれしかったです。 ・子どもの前で絵本を読む機会がある際、今回経験したことを思い出して絵本を読むことができればいいなと思いました。(高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座アンケートより) 								
16	市民活動への支援	子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。	継続	○			子育てサロンへ出向いて、乳幼児の保護者に対して絵本の楽しさを伝える取組みを行った。子ども文庫に赤ちゃん絵本をまとめて貸出した。「おかまおやこでにほんご」の活動をしているスタッフからの絵本の問い合わせに応えたり、外国語資料の寄贈本で図書館では使用しないものを提供するなどの支援をした。	読書振興課・図書館

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
17	「わいわい子育てミーティング」	年に1回子育てサークルの世話人が集まる機会となっている「わいわい子育てミーティング」の際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。	継続	○	回数／参加人数	1回／42人	手遊び歌遊びの紹介や、図書館職員による絵本の読み聞かせのポイントなどの紹介を行い、実際に読み聞かせも行った。	豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
18	小ネット研修・交流会(子育てサロンボランティアの研修・交流会)	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。	継続	○	回数／参加人数	1回／42人	項目17の「わいわい子育てミーティング」内で開催。	豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
19	青少年指導者に向けての取組み	指導者が集まる機会に、図書館の紹介をすることで、青少年活動での本の活用を広める。	未実施	□	参加人数		実施なし	○青少年育成課 読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
23年度より追加	妊婦教室での絵本案内	保健センターで開催される妊婦教室で赤ちゃん絵本についての話、赤ちゃん絵本の紹介、読み聞かせの実演、図書館の子育てサービスの案内を行う。 [126をご参照ください。]	継続	○		6回／47人	保健センターで開催される妊婦教室に庄内図書館・高川図書館から出向き、図書館の利用案内や赤ちゃん向け絵本の紹介、リーフレットの配布をした。市内の全教室での実施に至っていないことが課題である。	保健予防課 読書振興課・図書館



ブックスタート事業「えほんはじめまして」